

広報
まつのやま

1992 10月号 (No.200)



かわいい保育所園児のおみこしも雨の中元気良く進みました (松之山祭り)



天狗と獅子の一騎打ち (天水島の秋祭り)

△△△△ 今月号の話題 △△△△

- 広報 200号記念特集
- 町の歩みと思い出の写真…………… 2～5
- 9月定例議会…………… 6
- 平成3年度決算…………… 7
- 松之山祭り…………… 8
- 9月のフォトニュース…………… 10・11
- 集落探訪 (大荒戸) …………… 12
- 公民館だより…………… 14

町の歩みと思い出の写真



浦田中学校（平成3年3月閉校）



大被害をもたらした松之山地すべり



下鍛池地すべりにより東川が堰止められ湖となった豊原橋付近

昭和33年

- 5・7 村だより創刊号発行
- 11・1 町制施行、町章制定

昭和34年

- 5・1 松之山小学校で町内初の完全給食はじまる
- 9・30 町有ブルドーザー1台初購入
- 10・1 県立自然公園に指定される
- 12・1 湯本簡易水道完成

昭和35年

- 12・25 浦田中学校校舎竣工

昭和36年

- 11・30 浦田中学校体育館竣工

昭和37年

- 8・1 町商工会発足
- 11～ 松之山地すべり発生、被災面積850ha、関係戸数493戸、立ち退き指示80戸

昭和38年

- 2・4 松之山地すべりに災害救助法適用
- 8・15 松之山簡易水道完成

昭和39年

- 2・7 松之山中学校校舎、湯山に移転し新築竣工
- 2・10 安高松之山分校に普通科新設きまる
- 4・11 下鍛池地すべり発生、被災面積42ha、関係戸数56戸、立ち退き指示37戸、浸水家屋19戸
- 7・1 大蔵寺牧場開牧
- 9・30 松之山温泉2号井、89°Cの熱泉湧出
- 12・10 松之山小学校竣工

昭和40年

- 7・12 患者輸送車運行開始

昭和41年

- 2・10 松之山中学校体育館竣工
- 10・10 松之山市街地のアスファルト舗装120m完成（松之山町初）
- 11・28 急患輸送用に雪上車配置
- 12・10 役場庁舎落成
- 12・30 出稼者帰省バス初運行

昭和42年

- 1・4 湯本雪崩発生、死亡2、重軽傷6、全壊家屋1、半壊1
- 3・29 湯山簡易水道完成
- 6・22 町老人クラブ連合会発足
- 11・30 東川出張診療所竣工

広報200号記念特集

昭和43年

- 4・1 安高松之山分校、県下初の全日制分校となる
- 7・29 消防自動車初購入
- 11・30 中央（松之山）診療所竣工

昭和44年

- 8・1 出稼共助会制度発足

昭和45年

- 5・30 天水越大火、全焼6戸、半焼2戸
- 7・27 第一町民プール（松之山）完成
- 7・29 松之山温泉駐車場完成

昭和46年

- 3・31 松之山中学校松里校舎閉校
- 4・27 松之山中学校寄宿舎竣工
- 7・27 第二町民プール（東川）完成

昭和47年

- 3・31 浦田小学校校舎竣工
- 4・1 松之山保育所開設
- 6・23 池尻地内の松之山大橋竣工
- 10・25 ローターリー除雪車初購入
- 10・27 浦田小学校体育館竣工

昭和48年

- 3・31 松之山中学校東川校舎、浦田小学校中立山分校閉校
- 6・21 深坂峠付近にセスナ機墜落2人死亡
- 11・11 老人いこいの家「松寿荘」竣工

昭和49年

- 4・1 ホームヘルパー1名配置
- 6・20 東川小学校竣工
- 9・30 中立山農村集落センター竣工
- 12・23 松之山簡易水道、三省地区に通水開始

昭和50年

- 4・1 国道353号線認定
自然休養村事業スタート
- 8・11 浦田克雪センター竣工

昭和51年

- 6・27 第1回町民体育大会開催
- 11・5 松里小学校竣工
- 12・1 町内電話ダイヤル化

昭和52年

- 5・1 歴史民俗資料館開館
- 8・4 黒倉二ツ沢地内の集水井取水作業中、ガス中毒事故発生、死者3、軽傷1
- 11・2 松之山中央交差点に信号機設置
- 12・6 松里簡易水道完成



広々とした大巖寺牧場

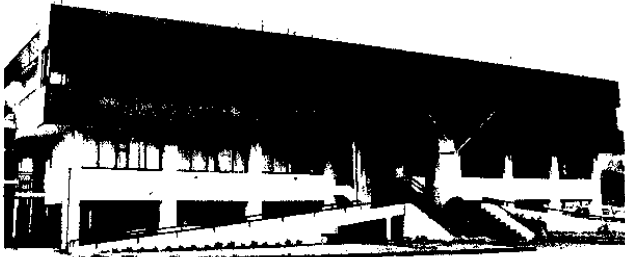


死者2名をだした湯本雪崩



威力を発揮するロータリー除雪車

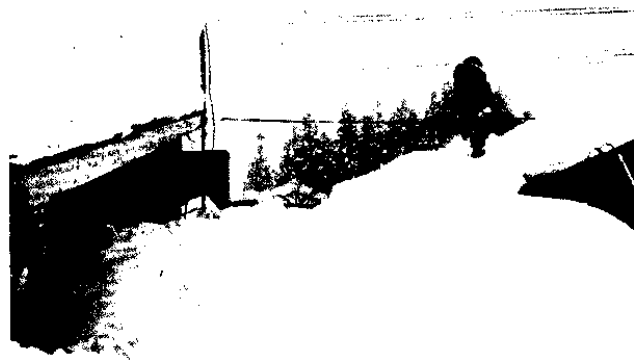
町の歩みと思い出の写真



自然休養村センター



大巖寺高原の拠点施設、管理棟、希望館、
ばーどがーでん（左から）



連日1mを超える降雪量を記録した56豪雪

昭和53年

- 5・20 自然休養村センター開館
- 7・24 町民歌、町民憲章制定
- 12・3 安高松之山分校竣工

昭和54年

- 1・1 松里保育所開設
- 6・30 希望館オープン
- 10・9 布川防雪センター竣工
- 11・11 三省小学校体育館竣工
- 12・12 川手簡易水道完成

昭和55年

- 3・31 法務局松之山出張所閉所
- 4・1 浦田保育所開設
松之山・松里・布川の三農協が合併し松之山町農協となる
- 7・5 町民体育館開館、松之山町体育協会発足
- 11・3 第1回町芸能祭開催
- 11・29 松口簡易水道完成

昭和56年

- 1・30 56豪雪、役場前積雪量4m60cm、災害救助法適用103世帯、県災害救助条例適用28世帯
- 3・31 坪野小学校、松之山小学校川手分校閉校
- 4・1 東頸消防署松之山分遣所開設
- 8・24 峰越林道天水越線開通（大巖寺高原～野々海池）
- 11・16 豊原トンネル開通
- 12・15 町営住宅完成

昭和57年

- 1・1 浦田第一、湯之島簡易水道完成
- 4・1 布川保育所開設
国道405号線認定
- 10・10 第1回町駅伝大会開催
- 10・31 第1回町農業祭開催
- 12・18 湯本駐在所竣工

昭和58年

- 4・22 松之山町文化協会発足
- 7・18 町総合検診はじまる
- 12・3 松之山温泉スキー場オープン
- 12・10 浦田駐在所竣工

昭和59年

- 3・1 59豪雪、役場前積雪量5m59cm、災害救助法適用54世帯、県条例適用41世帯
- 5・14 豪雪対策基金の制定、目標額5,000万円
- 12・12 レストハウス雪椿・スキー場駐車場完成

広報200号記念特集

昭和60年

- 10・30 広域林道菱ヶ岳線松之山～大島間開通
- 11・11 ばーどがーでん竣工

昭和61年

- 6・20 社会福祉法人松之山町社会福祉協議会設立
- 10・22 鏡ヶ池復元工事完成

昭和62年

- 1・12 長期山村留学事業はじまる
- 8・1 松之山町・浦田両農協が合併し松之山町農協となる
- 8・15 第1回大蔵寺高原真夏の雪まつり開催
- 10・12 町営露天風呂「翠の湯」オープン
- 10・20 坂口安吾文学碑建立
- 11・7 松之山小学校竣工

昭和63年

- 3・31 三省小学校、松之山小学校黒倉分校閉校
- 5・3 松之山町名老百選に27人選ばれる
- 11・8 キノコ工場竣工

平成元年

- 10・23 県営松里かんばい事業、留山ダム竣工

平成2年

- 1・18 町民グラウンド造成工事完成
- 3・31 布川保育所休園
- 5・11 松之山東京事務所開設
- 6・30 湯本出張診療所廃止
- 9・5 町民グラウンド照明施設完成
- 10・28 松之山町名老百選に14人追加される

平成3年

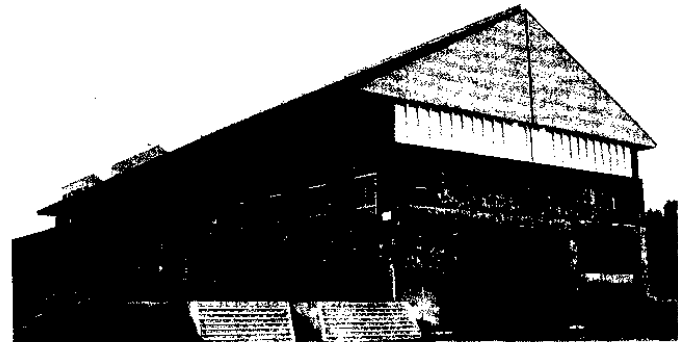
- 2・1 郡内森林組合（牧村を除く）が合併し、ゆきぐに森林組合となる
- 3・31 松之山診療所竣工
浦田中学校閉校
- 4・1 東川・浦田出張診療所廃止
- 4・12 温泉センター「鷹の湯」オープン
- 4・27 湯沢駅直通バス運行開始
- 6・10 松之山町史発刊
- 10・22 林道牛ヶ鼻浦田線竣工
松之山駐在所竣工
- 11・13 下布川地区コミュニティセンター竣工

平成4年

- 2・8 湯山トンネル開通
- 4・23 おふくろ館オープン



入込客が順調に伸びている松之山温泉スキー場



オープンスペースがある松之山小学校



町の医療を引受ける松之山診療所

9月定例議会

九月定例議会が九月二十四・二十五日の二日間開催され、平成三年度の決算及び平成四年度の補正予算、条例の改正などが審議されました。

九月議会は決算議会といわれており、一般会計及び四つの特別会計の平成三年度決算を中心に進められました。

決算の内容については、次のページに掲載しましたのでご覧ください。

条例の改正の主なものは、国民健康保険の税額が一部改正され、均等割の税額が前年度と比べ二〇〇円、平等割の税額が六〇〇円引き上げられました。平成四年度の補正予算では、一般会計で二億一、二九九万四千円という大きな補正が行われ、総額三三億六千万円近い予算となりました。

一般質問は五人の議員が行いましたが、くわしくは議会だよりで紹介されます。

また、特別会計の補正は次のとおりです。

▼国民健康保険事業勘定

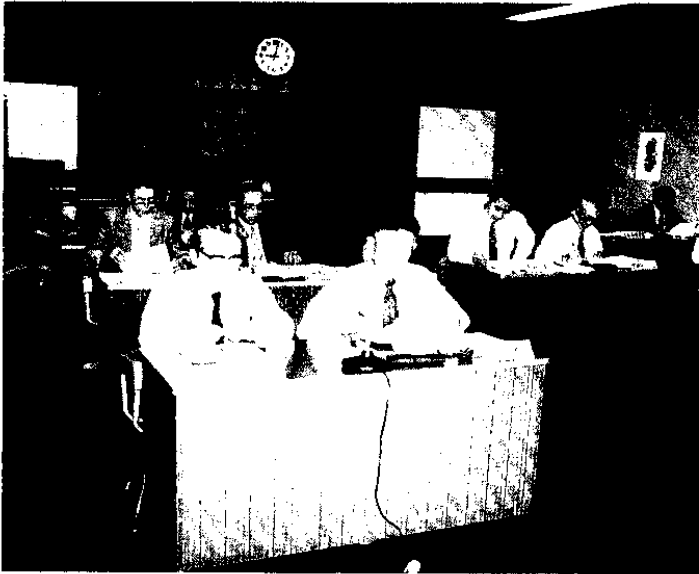
二、三八五万円を追加し、総額三億一、九二二万九千円とする。

▼松之山診療所勘定

五四三万三千円を減額し、総額二億九、一六五万七千円とする。

▼簡易水道事業

五五万円を追加し、総額一億七、〇六四万八千円とする。



慎重な審議を行った9月議会

第2回補正予算の主なもの

▷総務費

○土地開発基金積立金	10,000千円
○高齢者福祉対策基金積立金	50,394千円
○町債管理基金積立金	64,532千円
○新潟県知事選挙費	3,270千円

▷民生費

○国保財政安定化支援事業操出金	5,317千円
○デイ・サービス用リフトバス1台	4,500千円

▷農林水産業費

○ふるさと交流館駐車場舗装工事等	7,351千円
○天水島線林道開設工事等	2,165千円

▷商工費

○スキー場圧雪車整備費2台	3,000千円
○スキー場駐車場舗装工事等	4,000千円
○ゲレンデ造成費(立木等補償費)	3,400千円
○温泉センターろ過機増設工事	3,811千円

▷土木費

○土木施設等環境整備事業負担金	3,725千円
-----------------	---------

▷教育費

○中学校大規模改造工事費増	4,000千円
---------------	---------

選挙管理委員

決まる

九月定例議会において、選挙管理委員の選挙が行われ、次の方が委員に選任されました。

滝沢 和乎(猪之名)
久保田和夫(天水島)
本山 勉(北浦田)
佐藤 良雄(天水越)

今回選任された方は、全員再任でベテランぞろいです。

十月三日には委員会が開かれ、委員長に久保田和夫さん、委員長代理に本山 勉さんが選ばれました。

教育委員二名

再任される

九月三十日で任期が満了となる教育委員二名が、議会の同意を得て再任されました。

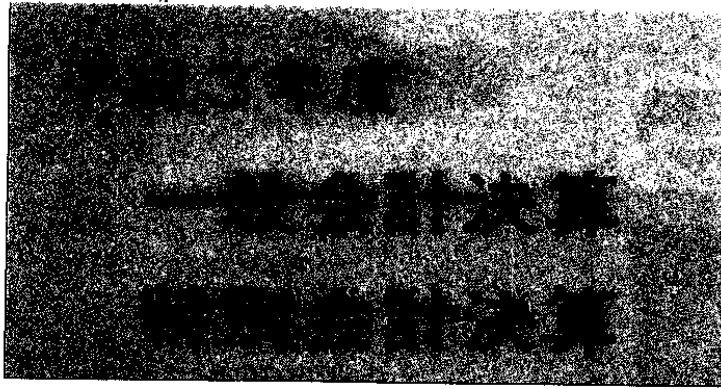
福原 一雄(天水越)
猪俣 栄二(松之山)

固定資産評価審査

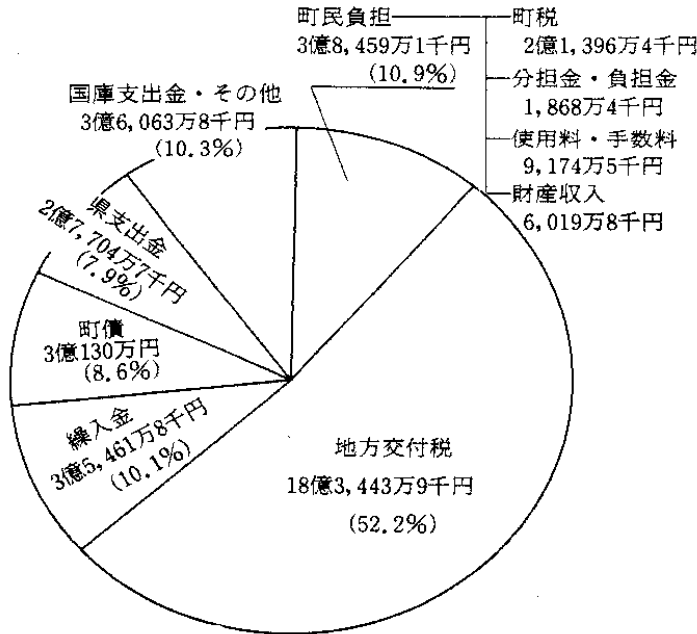
委員一名再任される

九月三十日で任期が満了となる固定資産評価審査委員一名が、議会の同意を得て再任されました。

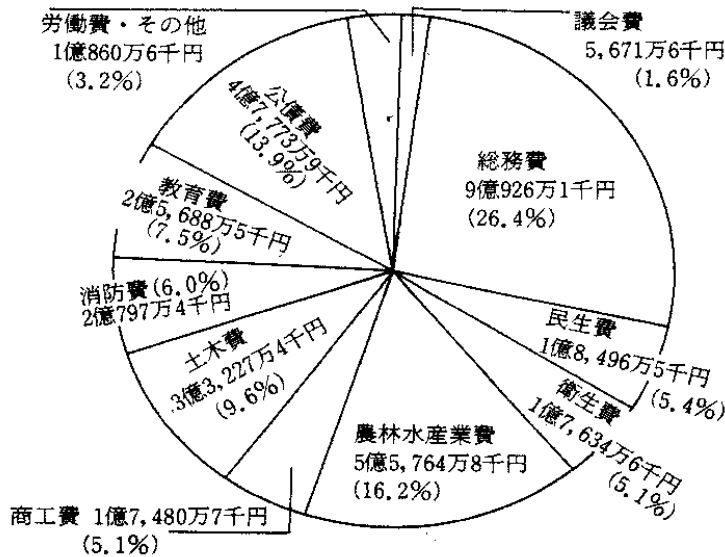
高沢 宏延(大荒戸)



歳入 35億1,263万2,922円



歳出 34億4,322万1,435円



6,941万1,487円の黒字

平成三年度の松之山町一般会計及び国民健康保険など四つの特別会計の決算が、九月定例会で承認議決されました。

一般会計では、当初予算二七億一、〇一四万九千円に対し、その後十回の補正が行われ最終的には三四億九、八二〇万八千円の予算額となりました。

前年度と比較して一一・九%、額にして三億七、二九五万円の大幅な増加となりました。

歳入の主なものは、五二・二

%を占める地方交付税で、一八億三、四四三万九千円、一〇・%の繰入金三億五、四六一万八千円、八・六%の町債三億一三〇万円などです。

歳出の主なものは、二六・四%を占める総務費九億九二六万一千円、一六・二%の農林水産業費五億五、七六四万八千円、一三・九%の公債費四億七、七三万九千円などです。

町民の直接負担となる税収入は二億一、三九六万四千円、税

外収入は一億七、〇六二万七千円で合計三億八、四九九万一千円となり、町民一人当りで割ると約一〇万四千円となります。

一般会計及び特別会計の決算状況は次のとおりです。

▼一般会計

○歳入 三五億一、二六三万二、九二二円

○歳出 三四億四、三三二万二、四三三円

○六、九四一萬一、四八七円の黒字

▼国民健康保険特別会計 (事業勘定)

○歳入 三億八、六六六万七、二七九円

○歳出 三億八、六三六万八、四三三円

○二九万八、八五六円の黒字

▼国民健康保険特別会計 (松之山診療所勘定)

○歳入 三億一、六二四万三、七八三円

○歳出 三億一、三四三万五、九七三円

○二八〇万七、八一〇円の黒字

▼老人保健特別会計

○歳入 三億七、四九四万三、七三〇円

○歳出 三億七、三一六万八、九五二円

○一七七万四、七七八円の黒字

▼簡易水道特別会計

○歳入 一億七、六二二万八、一四四円

○歳出 一億七、一〇二万四、七六三円

○五一九万三、三八一円の黒字

にぎやかな松之山祭り

早生品種の稲刈りが始まった九月五日・六日に、松之山祭りが行われました。

松之山小学校鼓笛隊を先頭とする行列は、農協SS前を予定どおり午後二時三十分スタートしました。

スタート直後から雨が降りだしましたが、鼓笛隊もみこしも雨を気にせず進みました。

松之山中央交差点近くまで来ると雨も止み、行列は一旦休憩しました。

農協本所前では松之山中学校ブラスバンド部の演奏会が行われ、演奏が終るころには日も射し始めました。

また、観衆からアンコールの声や拍手が送られ、予定していなかった曲も披露しました。

演奏会が終ると、行列は志賀電設前まで威勢よくゆっくり進みました。

かわいい園児のおみこしが通ると、沿道の人たちは待ちかねたように写真を撮ったり花代を渡したりしていました。

行列の最後を飾る女性みこし



男性顔負けの勇しさと祭りに華をそえた女性みこし

は、男性顔負けの勇ましきで練り歩きましたが、予想以上に重たいみこしはなかなか前へ進まず、男性の手を借りたり何回も休んだりして進みました。

夕方六時から歩行者天国が始まり、焼ソバ・タコ焼き・おもちやなどの夜店が並び、大勢の人出でにぎわいました。

観客は次々に打ち上げられるきれいな花火に見入っていました。なお、五日は各地で秋祭りが行われ、天水島・藤倉などでは本格的な舞台が作られ神楽が奉納されました。

豊作を祈る秋祭りから約一か月間は稲刈りの最盛期で、農家の人たちは疲れも忘れて収穫作業に汗を流しました。

松之山中央交差点を行進する松之山小学校鼓笛隊



大きな掛け声が聞えた小学校低学年のみこし

知っておきたい年金知識

国民年金の給付はこんなとき受けられます

国民年金には、誰もが共通して受けられる年金として、三つの基礎年金があります。

▼老齢基礎年金

保険料を納めた期間と免除された期間などを合わせて、原則として二十五年以上ある人が、六十五歳から受けられます。

▼障害基礎年金

加入期間中の病気やケガによって障害が残ったときに、障害の程度により受けられます。

▼遺族基礎年金

加入している人が亡くなった場合、その人の妻や子供が受けられます。

これらの年金を受けるには、毎月の保険料をきちんと納めていることが条件となります。自分自身の年金権を確かなものにするためにも、保険料は忘れずに納めましょう。

また、第一号被保険者（自営業者・学生等）については、次のような独自の給付があります。

▼付加年金

付加保険料を納めていた人が

受けられます。

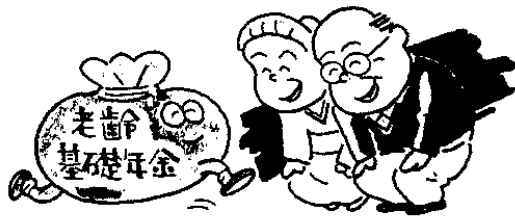
▼寡婦年金

資格期間を満たした夫がなくなった場合、妻が六十歳から六十五歳までの間受けられます。

▼死亡一時金

保険料を三年以上納めた人が亡くなった場合、遺族が受けられます。

くわしくは、役場の国民年金係までお問い合わせください。



おらが町の下水道事業始まる

水は私たちの生活に欠くことができないものです。

私たちはその水を生活や産業に役立て、再び川に返しています。

利用して汚れた水をそのままの状態に戻すと、自然環境が悪化します。

汚れた水をきれいにして、自然に戻すのが下水道です。清潔で快適な生活環境を取り戻すには、下水道の整備以外方法がありません。

松之山町では、今年度下水道

事業基本構想を樹立し、平成三年の人口をもとに平成二十二年

まで、各省庁が補助事業として採択する公共下水道・農業集落排水事業・合併処理浄化槽につ

いて、集落ごとにこの基本構想で計画されます。

また、平成五年度には事業名の調査測量が、松之山周辺と湯山・松里地区を処理区域として

実施される予定です。町では、これらの事業を進めるため下水道事業審議委員会を

設け、事業の諸問題を審議検討することになりました。

委員は各地区協議会長、処理区対象集落代表、処理区選出議員、温泉組合、商工会、JA松

之山、議会経済建設委員長、町長、助役、役場関係課長です。

下水道係では広報まつのやまを利用して、随時下水道に関する情報をお知らせします。

また、下水道についての疑問や意見等がございましたら、役場の下水道係にお聞かせください。

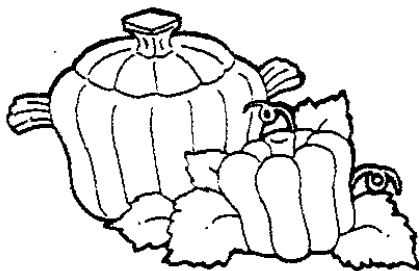
カボチャ羊羹の作り方

◎材 料

- カボチャ 1個 (正味500g位)
- 砂糖 400g
- 寒 天 2本 (15g)
- 水 600cc
- 塩 小さじ1杯 (5g)
- 水あめ 100g
- シナモン 少々

◎作り方

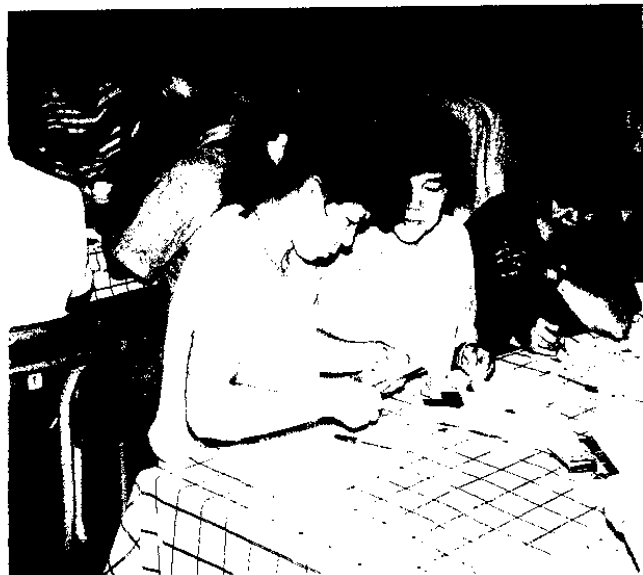
- 1、カボチャは皮を剥ぎ、水を加えて煮る。砂糖を加えて木杓子で混ぜながら、つぶすように煮て裏ごしし、鍋に戻して練り上げる。
- 2、寒天を分量の水で煮溶かし、裏ごしに通し、(1)のカボチャ餡を加え、塩・水あめを加えて焦がさないように火を通し、練り上げる。
- 3、荒熱をとってから、少量のシナモンを加えて型に流し、冷し固める。



お菓子と和紙工芸教室

九月二日夜、啓倫セミナールハ
ウス(旧三省小学校)で松之山
教養講座が開催されました。
講師は国際製菓専門学校
の職員で、最初にカボチャ羊羹の
作り方を習いました。
時間の関係で実際には作りま
せんでしたが、用意された試食
品はカボチャの風味をうまく生
かしていました。
カボチャ羊羹の作り方を、九
ページに掲載しましたので皆さ
んも作ってみてください。

次に、和紙千代紙を使った箸
置きと千代紙人形の箸袋を作り
ました。
箸袋は楽にできましたが、人
形は部分ごとに作って貼り付け
るので、思った以上に時間がか
かりました。
また、参加者は出来上がった箸
置きや箸袋を互いに見せ合っ
ていました。
最後のお茶会は裏千家の盆略
手前で、甘い和菓子とともにい
ただきました。



細かい作業が多い人形作りに参加者は苦勞していました

2 天水島の自治宝くじ助成記念秋祭り

九月五日夜、天水島の熊野神
社で、自治宝くじ助成記念秋祭
りが行われました。
今年、天水島の若島会が自治
宝くじ還元事業(コミュニティ
事業)に該当し、二〇〇万円が
助成されました。
助成金で購入した備品は、マ
イクやスピーカーなどの音響設
備、ビデオカメラとモニターテ
レビの映像記録装置、テント二
張、ライトなどの照明設備、舞
台材料(鉄管・クランプ)です。
開演あいさつでこれらの備品
が披露され、新装なった舞台で
は神楽が演じられました。
神楽は獅子舞・おかめ万才・
天狗舞の三幕になっており、最
後に天狗が獅子を退治して仁王
立ちする場面では盛んな拍手が
送られました。
神楽が終ると保育園児から老
人会まで二十以上の出し物が続
き、夜遅くまで笑い声や歓声が

聞えました。
特に、観客を大爆笑させた女
性二人組の「金さん銀さん」は
演技賞もので、顔のメイキャッ
プも話し方も本物をつくりでし
た。
また、一か月近く練習したあ
したば会(若妻会)のミサカ太
鼓は勇壮で、観客席にいても太
鼓のリズムが腹の底まで響いて
きました。



秋祭りのオープニングを飾った神楽

3 雨の中で農作業体験

九月二十四日と二十五日、新潟市にある敬和学園高校の二年生約二〇〇人が農作業体験をしました。

生徒たちは浦田と黒倉の四十軒の農家に分かれ、稲刈りや稲架けに汗を流しました。二十五日は台風の影響で風雨

が激しかったのですが、ほとんどの生徒は雨具を着て農作業を手伝っていました。

また、九月中旬には啓倫セミナーハウスを利用している専門学校の方々が、三省地区の農家で農作業体験をしました。

4 小谷第一トンネル安全祈願祭



工事の安全と一日も早い貫通を願う関係者

九月二十四日、小谷第一トンネルの安全祈願祭が行われました。

池尻側の第二トンネルはすでに貫通しており、第一トンネルも今年度中の貫通をめざしています。

第一トンネルは完成すると全長一四五m、幅九・九mになるそうです。

このトンネルを含めて、小谷から池尻の間の改良が一日も早く完了すれば良いですね。

カウベルが紹介され、独特の音色が館内に流れました。

また、テンポの良い曲や知っている曲のときには手拍子も聞きました。

最後はドレミの歌を全員で合唱しました。

5 小中音楽鑑賞教室

九月九日午前、町民体育館で松之山町小・中学校音楽鑑賞教室が開催され、ヨーロッパのアルプス地方の音楽を中心に、ク

ラシックやポップスも演奏されました。

スイス音楽では、長い木管のアルプホルンと牛の首につける



10以上もあるカウベルを曲目に合わせて上手に鳴らしました



激しい風雨のなか雨具を着て頑張った敬和学園の生徒たち

集落探訪

大荒戸

歴史と地名

町の北部に位置し、松代町と接している。

地名の由来については不明だが、青茅が荒戸と転訛したとも言われている。

また、松代町小荒戸との関係もはっきりしない。

集落内を町道大荒戸松代線が通り、その道沿いに庚申夫婦杉がある。

江戸初期の大荒戸村は松之山郷北組（松代町域）に属していたが、地理的な関係から中期以降南組に編入された。

弘化四（一八四七）年に起きた善光寺地震では、村の戸数の三分の一以上に及ぶ十七戸が全半壊した。

明治九（一八七六）年石油製油所ができ、大荒戸は石油景気にわいた。

昭和四十九年には簡易水道、同五十六年には集落センターが完成した。

庚申夫婦杉

平成三年二月、町指定文化財となった。

この夫婦杉の根本には庚申塚があり、六基の庚申塔が祀られている。

主幹は目通り六・四m、双幹になっているところから夫婦杉と呼ばれるようになった。

樹齢は不明だが樹勢は良い。

十二神社と地蔵堂

十二神社及び地蔵堂の創立年月は不明である。

しかし、天和三（一六八三）年検地帳には除地記録があり、江戸前期以前の創立であることがわかる。

大荒戸では歳神社（石祠・稲田姫命）も奉斎してきたが、昭和三（一九二八）年六月、十二神社に合祀された。

境内には目通り五・三mのケヤキがあり、このケヤキは町内

草生水と石油

で三番目に大きい。地蔵堂は昭和五十六年廃堂となり、本尊の延命地蔵は集落センターへ移された。

正徳三（一七一三）年、大荒戸の字草生水で日産五升ぐらいの石油が湧出していたと古文書に記されている。

明治初期から中期にかけて石油採掘の最盛期を迎え、明治九年には石油製油所ができた。

この石油景気で酌婦を置く料理屋も開業し、「黄金なる花の大荒戸」といわれていた。

明治十九年八月、大荒戸の高沢瀬平が中心となって有限責任

会社「松泉社」が設立された。

鉱区は字草生水で採油を専業としていたが、時には精製も行っていた。

採掘された原油は赤紫色で不純物が少なく、そのまま発動機の燃料に使用できた。

隆盛を誇った石油業も、埋蔵量の減少と電気の発達によりしだいに衰退した。

雪中派出校

雪中派出校は大正元（一九一二年）に設置され、昭和三十九年に廃止されるまで多くの児童が学んでいた。

昭和三十五年には現在の集落センター敷地内に校舎が移築さ

大荒戸城

れ、廃校後は集会所として使用していた。昭和五十六年、集落センター建築のため旧雪中派出校（集会所）は取壊された。

大荒戸城について「温古之葉」

では次のように記載している。「建仁年間（一一〇一〜四）、

佐々木盛綱の一族下野国那須郡の住人丹治左衛門俊秀がここに移住し、大関と姓を改め上杉氏に属し、一族繁栄したというと伝える」

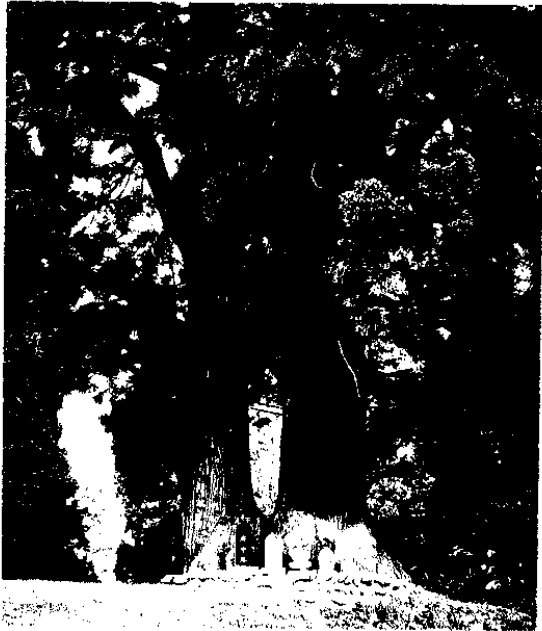
町史でも何か所か現地調査を行ったが、城跡を確認することはできなかった。

風の三郎様

集落南東の松口に至る旧道沿いの小高い丘に、「斎 級長戸辺命 級長津彦命」と刻まれた風神塔が立っている。

風の三郎様とは風神の愛称で、町内では土用の丑の日や二百十日（九月一日）に祭りが行われている。

大荒戸でも、以前は九月一日に酒や野菜を供えて豊作を祈願したというが、今は行われていない。



庚申塚に立つ双幹の杉として庚申夫婦杉といわれている

お知らせかわら版

松之山安吾まつり

松之山ゆかりの作家、坂口安吾を偲ぶ「松之山安吾まつり」が、十月二十日夕方より自然休養村センターで行われます。

当日は安吾研究の第一人者、上越教育大学教授相馬正一氏の講演が予定されています。

▼日時 十月二十日(火)、午後五時より
▼会場 自然休養村センター

▼会費 一、〇〇〇円
▼講師 上越教育大学教授 相馬 正一
▼演題 松之山と安吾
〜若き日の安吾〜

▼申し込み・問い合わせ先
十月十二日(月)までに、町観光協会内安吾まつり事務局(☎六―三―三三)へ申し込んでください。

新潟県農業大学校の学生募集

新潟県農業大学校(全寮制)では、平成五年度の学生を募集しています。

修業年限は二年です。
▼募集人員

総合農学科 二五名
畜産科 二〇名
園芸科 一五名
畜産科 一五名

▼受験資格

高等学校卒業者(平成五年三月卒業見込みを含む)またはこれと同等以上の学力があり、おおむね二十五歳以下の者

▼受け付け期間

○推薦入校 平成四年十月二十
六日から十一月七日まで

○一般入校 平成四年十二月二十一日から平成五年一月九日まで

▼試験日
○推薦入校

平成四年十一月二十日
○一般入校
平成五年一月二十一日

▼試験場所

新潟県農業大学校
▼問い合わせ先
○新潟県農業大学校
☎〇二五六―七二―三二四二
○東頸城農業改良普及所
☎二―三六二二

◇役場産業課農林係
☎六―三―三三(内線四一番)

社会福祉協議会よりのお礼とお願い

善意をありがとう

今年の八月二日に亡くなられました福原康造さんの香典返しとして、湯本の十一屋さんより社会福祉協議会へ十萬円の寄付がありました。

本来ならば温泉組合など十七の団体へ香典返しをするのですが、町の福祉に役立ててほしいと、遺族の方が各団体の了承を得て寄付したものです。

社会福祉協議会では、この寄付金を有効に使用し、福祉の充実につとめたいと考えています。

赤い羽根共同募金

十月から十二月まで「赤い羽根共同募金」が行われます。いろいろな機関や団体の協力を得ながら、誰もが参加できるボランティア活動として、また住民総参加で展開される規模の大きい募金活動です。

皆さんから寄せられた募金は、町の社会福祉の向上にも役立っています。

たとえば、老人クラブの育成や敬老事業に、寝たきりや痴呆のお年寄りへの歳末援護に、体

パスポートが変わります

十一月一日より、パスポート(機械読取り旅券)の様式及び申請手続きが変わります。

▼改正内容

①申請書の様式や写真のサイズが変更されます。
また、申請時に提出する写真の枚数は一枚(現在は二枚)になります。

②旅券発給手数料が改定され、一般旅券の発給が八、〇〇〇円から一〇、〇〇〇円に、記

十月は労働保険適用促進月間です

労働保険とは労災保険と雇用保険とを総称した名称であり、原則として労働者を一人でも雇ってれば、その事業主は加入しなければならぬことになっています。

また、旅券申請手続きのテレホンサービスを終日行っているので気軽にご利用ください。

○テレホンサービス
☎〇二五―二八三―一〇五〇



の不自由な方の団体の育成のために、母子・父子家庭の幸せのためなどに使われています。

社会福祉協議会では、戸別募金や職域募金を行いますので、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

公民館 だより

公民館 ☎ 6-2265

文化情報

婦人会コーナー

「我が家の味と香り」の展示会に 出品してみませんか

町農業祭で行われる「我が家の味と香り」展示会では、今年も皆さまの腕自慢料理を募集します。

おばあちゃんの秘伝、私の得意な料理、我が家で人気の一品など何でも結構です。

また、遠く外国から嫁つがれた皆さんもお国自慢の料理や、松之山に来て覚えた料理を出品してみませんか。

今年発行された「伝えていき

たいわが家の味と香り」には、第五回から十回までの二六四品が紹介されています。

掲載されている料理は地元松之山産の材料から作られ、私達が普段食べている料理とほとんど変わらないものです。

同じ料理でも作る人が違えば味も変わりますので、遠慮せずどしどし出品してください。

くわしくは、公民館へ問い合わせてください。

町芸能祭・美術展

十月二十五日(日)、町民体育館で町芸能祭が開催され、劇・民謡・舞踊・詩吟・歌舞伎・太鼓などが演じられます。

劇は松之山小学校の「李坂由来」、歌舞伎は「義経千本桜 屋及段つるべ寿し屋の場」が予定されています。

また、十月二十四日から二十六日まで自然休養村センターで町美術展が開催され、絵画・書道・写真などが展示されます。

出品基準等は、公民館へ問い合わせてください。

東頸城郡美術展

第十一回東頸城郡美術展が十月十六日から十八日までの三日間、蒲川原村民体育館で開催されます。

時間は午前九時から午後六時までです。

松之山町からも多くの作品が出品され、例年数多くの賞を受賞しています。

郡内のすばらしい作品を、家族や仲間でぜひご覧ください。

なお、郡美術展に出品された町内の作品は、町美術展にもそのまま飾られます。

親子自然体験教室 親子映画の夕べ

親子自然体験教室は「秋の渡り鳥を知ろう」で、深坂峠付近を通る渡り鳥を観察します。

▼日時 十月十八日(日)、午前九時三十分より

▼会場 自然休養村センター
集合、深坂峠へ移動

また、親子映画の夕べは「喜多郎の十五少女漂流記」を上映します。

▼日時 十月十七日(土)、午後七時より

▼会場 自然休養村センター



工夫された料理が数多く展示され試食品はすぐになくなってしまいます。

夜間一般開放は10月31日まで

町民体育館とテニスコートの夜間一般開放は、10月31日(土)で終了しますのでご注意ください。

また、10月23日(金)～25日(日)にかけては芸能祭の準備のため、町民体育館は使用できません。

さまざまなか敬老行事

敬老の日の前日、九月十四日にさまざまなか敬老行事が行われました。

七十七歳・八十八歳・九十五歳・一〇〇歳以上の方には、県と町から祝菓子や敬老品が贈られ、八十歳以上の方には町社会福祉協議会から布団カバーが贈られました。

八十八歳以上の方は町長が訪問し、一人ひとりに敬老品を手渡しました。



103歳とは思えないほど元気な福原タマさん



松之山ライオンズクラブから一人暮らし老人の皆さんに昼食の弁当がプレゼントされました。

町内の最長寿者は一〇三歳の福原タマさん（天水越・隠居）で、福原さんは県内でも六番目の長寿者です。

視力は不自由ですが、家の中はどこでも自由に歩け、入浴も一人でできるほど元気です。

また、松之山ライオンズクラブの皆さんは、町内の一人暮らし老人七〇人に昼食の弁当を配り、話し相手をつとめていました。

国保だより

出稼ぎに行かれる方は異動手続きを忘れずに！

世帯主は、自分の世帯にいる家族で保険加入者に異動があった時（転出・転入・出生・死亡・出稼ぎ先の保険に加入等）は、必ず十四日以内に届出をしなければなりません。

出稼ぎ先で社会保険等に加入

知っていますか、もう一枚の保険証（遠隔地被保険者証）

保険証は一世帯に一枚が原則ですが、出稼ぎ、長期の旅行、修学のため他の市町村に住むような場合は、一世帯に一枚の保険証では間に合いません。このような場合は、特別にもう一枚の保険証（遠隔地被保険

保険証が変わったら医療機関に連絡（提示）してください

お医者さんにかかるときは、必ず保険証を受付窓口に表示することになります。保険証が変更になった場合は、必ず医療機関に早目に連絡してください。出稼ぎ先の社会保険の手続きが遅れている場合は、医療機関にその旨を連絡してください。

する方は、出稼ぎに出られる前に役場の国保係から社会保険加入証明書の用紙をもらい、会社から証明を受けできるだけ早く役場の国保係に送ってください。

この証明書が届き次第、あなたの家庭に連絡して国保の保者証）を受けることができます。出稼ぎ先で社会保険に加入すると、世帯主で扶養者のある方は、その家族も一緒に被扶養者として社会保険に加入します。あなたの保険証のほかに、家族の方に「遠隔地被保険者証」

老人保健についても保険証が変更になった場合は、必ず医療機関に保険証と医療受給者証を見せてください。連絡や提示をしなかった場合は、医療費が全額自己負担になります。国保でもう一枚の保険証を交付しますので、国保係へ相談してください。

受領し、家族の方に送ってください。社会保険に加入しない方は、国保でもう一枚の保険証を交付しますので、国保係へ相談してください。



お知らせ

秋季火災予防運動 10/26～11/1

点検を重ねて築く火災ゼロ

日一日と寒さが増し、暖房器具等の火を使う機会が多くなり、火災の起こりやすい時期となります。

火災の大半は、ちよつとした不注意から起きています。

次の点に十分注意し、「火の用心」をお願いします。

- 寝タバコやタバコの投げ捨てをしない。
- 子供はマッチやライターで遊ばない。

必ず点検してください。

ばない。

○風の強いときは焚火をしない。

○テンプラを揚げるときは、その場を離れない。

○家のまわりに燃えやすいものを置かない。

○風呂の空だきをしない。

○ストーブには、燃えやすいものを近づけない。

なお、暖房器具等は使用前に必ず点検してください。

十一月九日は「一九番の日」

火災・救急その他の災害の発生を知らせる一九番は緊急を要する重要な番号で、通報の遅れから尊い生命、大切な財産を失うこととなります。

一九番の正しい利用と正確な通報を心がけてください。

全国防犯運動 10/11～10/20

今年の防犯運動の重点事項は次のとおりです。

◎暴力追放（暴力団の排除）

◎少年の非行防止

◎自転車・オートバイ盗の防止

暴力団を社会から締め出すためには、皆さんが結束して「暴力団が活動できない社会環境づくり」を強力に推進することが必要です。

暴力団の脅しや嫌がらせに泣

き寝入りすることなく、みんなが暴力団を追放しましょう。

暴力団による被害や少年問題でお困りの方は、警察署・駐在所にご相談ください。

なお、今年の広報用ポスターは、安塚警察署の小池賢一巡査が応募した作品で、全国の中から最優秀に選ばれポスターに採用されました。



短歌

冠雪の便りもありて山あいの
 柳田は既に刈株ばかり
 コスモスの乱れ咲く野にうず居して
 秋の香りに浸りて居たり

松之山 丘山 司郎（高校）

俳句

わら焼きの煙百舌鳴く頃となり
 天心より月満りて森眠る
 流水の渚に揺れて夏果てぬ

松之山 丘山 司郎（高校）

川柳

いたずらも本腰になる快復期
 和平説くその裏側は武器を売る

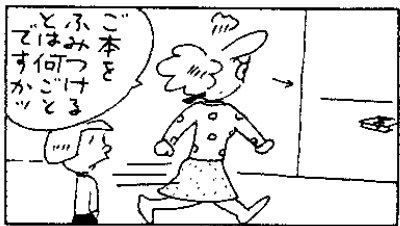
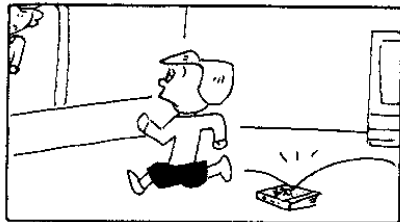
黒倉 草村 正孝（一枚田）

◎多くの方のご寄稿をお待ちしています。
 なお、難解な漢字及び読み方には必ずふりがなを付けてください。



さわやか君

西村 宗



新潟県知事選挙

告示日 平成4年10月5日(日)
投票日 平成4年10月25日(日)

告示期間中は、役場で不在者投票ができませんので、選挙日に投票してください。

収穫の喜び農業祭

1年間の農業生産と文化活動の成果を展示・発表しあう第11回農業祭が、10月25日に開催されます。

会場は、自然休養村センター及び町民体育館周辺です。

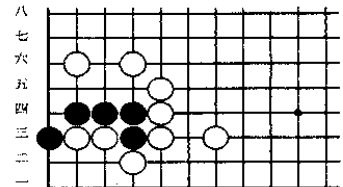
今年は新潟県知事選挙投票日と重なりましたが、農業祭等の開始時間は午前9時からですので、早めに投票を済ませてからお出かけください。

また、同時開催の芸能祭は午前9時より町民体育館で行われます。主な日程と会場は次のとおりです。

- ◎野菜・牛肉即売 9:00～ 自然休養村センターピロティー
- ◎おにぎり・手打ちそば・もち試食 11:00～(引換えは11時からですが、引換券は受付テントで朝からお渡します)
- ◎わが家の味と香り展示会 9:00～ 自然休養村センター2階
- ◎良質米共励会表彰 11:00～ 町民体育館芸能祭会場
- ◎錦鯉展示即売 9:00～ 町民体育館横
- ◎農機具展示即売 9:00～ 自然休養村センター駐車場

詰碁

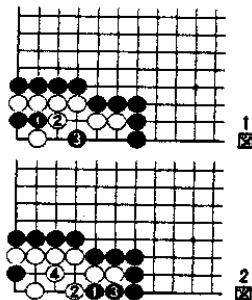
有段をめざして



イロハニホヘトチリヌル

黒先コウ (1手だけ)

9月号の答え



正解者

村山 伸(湯本)
久保田光栄(天水島)

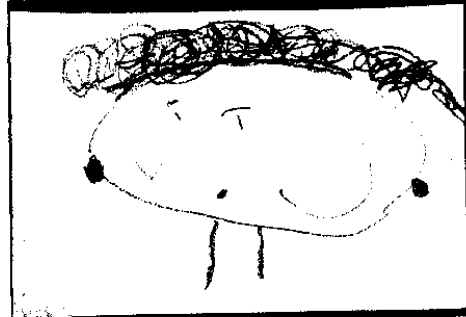
詰碁の解答を募集しています。10月27日までにハガキなどで広報担当まで正解者には粗品を進呈

1図(正解)
この問題は、詰碁の本によく出ている形から二手進めて解きやすくしたのですが、黒1の出が気づきにくい好手。
白2には、黒3の置きが急所です。これで白には続く抵抗手段がありません。
2図(手筋風)
第一感で浮かぶのは、一見筋風の黒1ですが、白2、4の好防に合いうまくいきません。

土曜閉庁
 10月10日・24日
 (祝日)
 11月14日・28日
 ※出生・死亡・婚姻の届はできます



りす組
 もとやまみさとさん
 (曾根 大和慶)



おばあちゃんがいくみちゃんを
 みているところ

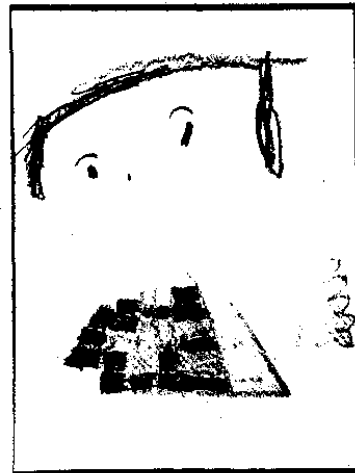
戸籍の窓

おめでた(出生) (生年月日)

賢太ちゃん 小見幸則・玲子さんの長男
 黒倉(中屋敷) 4・8・29
 李句ちゃん 高橋明・紀子さんの二男
 天水島(半助) 4・9・9



りす組
 さとうみどりさん
 (曾根 勲人)



おかあさんがおにごっこを
 しているところ

おくやみ(死亡) (死亡年月日)

相沢アイさん 59歳 観音寺(中) 4・9・7
 佐藤永一さん 66歳 天水越(栄屋) 4・9・7
 鈴木コウさん 66歳 小谷(大下) 4・9・8
 福原民樹さん 52歳 天水越(由兵エ) 4・9・13
 ※9月1日から30日までの届出分です。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|------------|------|-----------|-----------|-----------|-------------|------------|-------------|--------------|----------|----------|---------|---------|---------------|-------|--------|---------|----------|----------|----|-------------|--------------|----------|-----------|---------|
| 4日 | 1日 | 26日 | 25日 | 24日 | 21日 | 20日 | 18日 | 17日 | 16日 | 14日 | ▼10月11日 | 30日 | 28日 | 25日 | 24日 | 9日 | 3日 | 2日 | ▼9月のできごと | | | | | | |
| リハビリ教室(すこやか) | 婦人バレーボール大会 | 分団査察 | 小中芸能発表交歓会 | もみじマラソン大会 | 町農業者発表交歓会 | 町美術展(26日まで) | 新潟県知事選挙投票日 | 町美術展(26日まで) | リハビリ教室(さわやか) | 松之山安吾まつり | 親子自然体験教室 | 親子映画の夕べ | 川原村民体育館 | 郡美術展(18日まで、浦) | デイ・ケア | 特別免許更新 | 農業委員会総会 | 町消防団幹部会議 | 乳幼児検診 | 願祭 | 小谷第一トンネル安全祈 | 議会定例会(25日も有) | 小中音楽鑑賞教室 | 人権相談・行政相談 | 選挙管理委員会 |

こよみ



編集後記
 忙しかった農作業もそろそろ
 終りを迎え、まわりの山々も色
 づき始めました。
 さて、金子前知事の突然の辞
 任で、新潟県知事選挙と農業祭
 芸能祭が同日となってしまいま
 した。
 関係者は頭の痛いところだす
 が、皆さんは投票を済ませてか
 ら農業祭などにお出かけくださ
 い。
 広報まつのやまも今月号で二
 〇〇号となり、一〇一号から二
 〇〇号までの縮刷版が発刊され
 る予定です。
 皆さんからの注文が多ければ
 多いほど、一冊あたりの単価が
 安くなりますので、ぜひ購入し
 てください。 佐藤

十月一日の人口
 総人口/三、六六二(▲二)
 男/一、七九八(▲一)
 女/一、八六四(▲一)
 世帯数/一、一四六(▲三)
 (一)内は九月一日との比較
 ▲は減
 広報まつのやま十月号
 平成四年十月九日発行
 発行/新潟県松之山町
 ☎三五五六一六―三三三
 編集/総務課